

はじめに



つないで個性を磨く 「誇りを持って住めるまち」をめざして

このたび、今後の南丹市におけるまちづくりの基本的な方針となります「南丹市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

南丹市は、京都市に次ぐ広大な面積を有し、四季の彩りに満ちた美しい自然に囲まれている一方で、市街地が利便性の高い都市圏の近郊にも立地しているという恵まれた環境にあります。また、付加価値の高い農業、多くの高等教育機関、工場や伝統工芸職人の工房などが立地するものづくりのまちなどの様々な個性があります。

本マスタープランでは、これらの多様な個性を活かし、まちづくりを進めていくため、上位計画であります「南丹市総合振興計画」に掲げられた市の将来イメージ「森・里・街がきらめくふるさと 南丹市」を基本理念として踏まえた上で、その実現に向けた将来都市像を、つないで個性を磨く「誇りを持って住めるまち」と掲げました。

この将来都市像を具体化するため、5つのまちづくりの目標を定めるとともに、市全体の土地利用や交通体系の整備など、個別の基本方針を示しております。また本市は、広大な市域を有し、町ごとの特色もあることから、全体的なまちづくりの基本方針に加え、地域別のまちづくり構想を、地域の方のご意見をいただく中で策定いたしました。

少子高齢化の進行と人口の減少、地域経済の低迷や都市部と地方の格差の広がりなど、行政をとりまく環境は大変厳しいものがありますが、本マスタープランを指針に市民の皆様とともに「誇り」を持って住めるまちづくりを実現してまいりたいと存じますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本マスタープランを策定するにあたり、長期にわたりご尽力いただきました策定委員会の委員の皆様並びに数々の貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様方に心からの感謝を申し上げます。

平成23年11月

南丹市長 佐々木 稔納